

令和 7 年 3 月

保護者・地域の皆様

関係各位

世田谷区立祖師谷小学校

校長 小俣 和也

令和 6 年度祖師谷小学校 学校関係者評価
自己評価報告書

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

令和 6 年度の学校関係者評価に基づく自己評価を以下のようにご報告いたします。

I 【プラス評価の高かった項目について】※「とても思う」 + 「思う」 %

— 児童 —

- ◇授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。 95.0%
◇先生たちは、ていねいに指導してくれる。 94.5%
◇学校行事は楽しい。 94.1%

— 保護者 —

- ◇学校行事は、子どもにとって楽しい。 94.9%
◇本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。 94.6%
◇学校行事は、子どもにとって達成感がある。 93.4%

— 地域 —

- ◇学校の重点目標が明確である。 100%
◇学校行事の内容は充実している。 94.1%
◇学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。 94.1%

児童は、学習 5 項目で「とても思う」「思う」は平均 88.1% だった。昨年度は 4 項目だったが平均 89.5% だったので、1.4P 下がった。「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。」は 95.0% と特に高かったのは、探究的な学びとして「交流、話し合い活動」が多く行われたからと考えられる。どの項目も学習活動において中心となる活動なので、常に高い評価であるように授業改善を行っていく。教員の指導については昨年も同程度であった。「学校行事は楽しい。」は 14P も高くなり、行事や特別活動への関心・意欲が高いことがうかがえる。

保護者は、上位 3 項目が昨年度と同じだった。本校の行事が、子どもにとって楽しいだけでなく、達成感が得られるよう引き続き行っていきたい。学校公開は、期間中はフリーに参観していただいた。保護者会は、1, 3 学期は対面、2 学期はオンラインで行った。直接、児童の様子を見たり、保護者が情報交換したりする機会が増えたことで学校の様子を知っていただくことができた。

地域には、主に学校だよりやホームページ、会合などで学校の取組などを紹介してきたことが、高評価につながったと考えられる。目標に沿った教育活動を実践してきたことが多くの方にご理解いただけた。今後も実践と情報提供をしっかりと行っていきたい。

II 【プラス評価の比較的低かった項目について】

※ 「あまり思わない」 + 「思わない」 %

— 児童 —

◇学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。 23.4%

◇先生たちに相談できる。 19.9%

— 保護者 —

◇私は、今年度の学校重点目標を理解している。 35.5%

◇「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。 34.0%

— 地域 —

◇通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。 47.1%

◇「学び舎」の活動について、情報が提供されている。 35.3%

学び舎の活動について、児童、保護者は昨年度より、それぞれ 11.7p、6.3p 改善された評価だった。児童の学び舎での直接交流によるものと考えられる。保護者にも学校だよりなどで全学年に知らせたことで、学校全体での取組として周知することが大切なことが分かった。地域へは学校だよりでは情報が届かないことが考えられる。地域の会合等の機会に周知することが必要といえる。

重点目標については、年度初めにお知らせしたが、その後、どのような取組が行われたのか周知がなかったことが、低評価の要因と考えられる。学校だよりで重点目標についての取組状況を毎月周知することでご理解いただく。

III 【「分からぬ」評価の比較的多かった項目について】

— 児童 —

◇区立中学校に関する情報が提供されている。 28.4%

— 保護者 —

◇5・6年生で一部教科担任制を取り入れ、

子どもの学習意識を高める工夫をしている。 44.3%

— 地域 —

◇学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。 17.6%

学び舎の中学校は距離があり小学校との直接交流は難しい。間接交流として中学校の学校だよりやホームページから情報を得て、関わりを深める必要がある。一部教科担任制は高学年で行っているので、低・中学年の保護者には情報が伝わりにくいと言える。7年度は、中学年においても一部教科担任制を行い、低学年では交換授業を増やし、全学年で推進する。

地域運営学校として学校運営委員会の活動は大切である。活動状況を保護者、地域にホームページで知らせていく。